

- 問1 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。 | 2. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。 | 3. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。 | 4. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問2 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから | 2. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから | 3. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから | 4. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから |
|---|--------------------------------------|--|--|
- 問3 朝鮮半島における高句麗、百濟、新羅の三国抗争期において、日本（倭）の動向や影響について説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 朝鮮半島からの渡来人が、須恵器の製作技術や漢字、儒教などを日本に伝えた | 2. ナポレオンの軍勢による混乱に乗じて、朝鮮半島全域を直接支配した | 3. 秦の始皇帝が派遣した軍隊と協力し、高句麗の南下を阻止した | 4. オランダとの貿易を優先するため、朝鮮半島諸国との国交をすべて断絶した |
|--|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていますか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 将軍 | 2. 執権 | 3. 天皇 | 4. 大王 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 1. 勘合貿易で用いられた割符 | 2. 「漢委奴国王」と刻まれた金印 | 3. 「日出処天子」と記された国書 | 4. 「親魏倭王」と刻まれた金印 |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|
- 問6 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大陸から渡来した人々が、全国各地に共通の墓制を直接伝えたこと | 2. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと | 3. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと | 4. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと |
|-----------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問7 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 1. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 2. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 4. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため |
|---------------------------------------|---|---|--|
- 問8 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。 | 2. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。 | 3. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。 | 4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。 |
|---|--|--|---|
- 問9 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。 | 2. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。 | 3. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。 | 4. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。 |
|---|--|--|--|
- 問10 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。 | 2. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。 | 3. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。 | 4. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。 |
|--|---|--|---|
- 問11 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。 | 2. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。 | 3. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。 | 4. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。 |
|--|---|--|---------------------------------------|
- 問12 日本最大の方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。 | 2. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。 | 3. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。 | 4. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。 |
|----------------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|
- 問13 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 御家人 | 2. 防人 | 3. 渡来人 | 4. 遣隋使 |
|--------|-------|--------|--------|